農 林 第 113 号 令 和 6 年 4 月 24 日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

高畠町長 髙梨 忠博

市町村名	高畠町					
(市町村コード)		063819				
地域名		露藤•中島				
(地域内農業集落名)	(露藤上、露藤中、露藤下、中島北、中島南)					
		令和5年12月5日(第1回)				
協議の結果を取り	まとめた年月日	令和6年1月18日(第2回)				
		令和6年2月11日(第3回)				

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

- 1 地域における農業の将来の在り方
- (1) 地域農業の現状及び課題

・農地・水対策の継続強化を推進するなど集落の結びつきが強く、担い手はいるが十分とは言えないため、後継者の育成・確保が課題である。

高齢化や農業機械への投資負担が大きくなっているため、個人経営での営農に限界がある。

(2) 地域における農業の将来の在り方

・水稲を中心として、転作による耕地には野菜・果樹などの多品目の作付けを行い、複合的な経営形態を今後も維持していく。

・個人での農機具の購入は資金面から厳しくなっているため、機械の共同利用や協業体制を敷くことも検討していく。

- 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域
- (1) 地域の概要

区	域内の農用地等面積	184.21 ha			
	うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	184.21 ha			
	(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	- ha			

(2)農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農業振興地域内農用地区域とその周辺の農地。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3	農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項											
	(1)農用地の集積、集約化の方針											
	担い手を中心に団地面積の拡大を進めるとともに、農地集積・集約を進める。											
	(2)農地中間管理機構の活用方針											
	地均	或の農‡	也の貨	覚し借りは別	農地	中間管理機構の活用を	促近	進し担い手の経営	営意	向に沿った農地	<u></u> の	集積・集約化を
	段階的に図っていく。											
	 (3)基盤整備事業への取組方針											
	未	を理地と	なっ	ている耕地	きもあ	るため、土地改良事業	なと	を通じて大区画	化	を図り、経営効率	≤化	をめざす。 をめざす。
	 (4)多様な経営体の確保・育成の取組方針											
	入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進していく。											
	 (5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針											
	107展来協向福口寺の展末又振り一と大事来自寺への展作来安乱の冶用力画 地域内外で作業受託を行う事業体へ農作業の一部を委託することで農作業の効率化を図り、農業経営を維持											
	できる体制を作る。											
ı	L											
								© # #1 <i>**</i> *				
		山烏哥	(被害	防止対策		②有機・減農薬・減肥料		③スマート農業		④輸出		⑤果樹等
		⑥燃料	∤∙資》	原作物等		⑦保全•管理等		⑧農業用施設		⑨耕畜連携		⑪その他
	【選	択した.	上記(の取組方針	-							•
•												